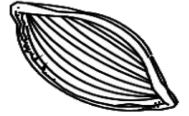


流水のはたらきと地層 演習プリント①

- (1) 流れる水が地面の土砂を削るはたらきを何というか
- (2) 図の生物の名前と、生息した地質時代を答えよ
- (3) 川がまっすぐ流れているところでは、流れが速くなるのはどの部分か
- (4) 流水のはたらきのうち、水の流れが速いと大きくなるものをすべて答えよ
- (5) 泥が押し固められてできた岩石を何というか
- (6) 砂が押し固められてできた岩石を何というか
- (7) 古生代の化石から発見される絶滅したと考えられていた種が、南アフリカで生息するのが発見され「生きた化石」と呼ばれた古代魚は何か
- (8) 川がまっすぐ流れているところでは、もっとも深くなるのはどの部分か
- (9) 地層が連続してたい積し、境界が直線状になっている状態を何というか
- (10) 図のようなれき、泥、砂がたい積し逆転の見られない地層の、過去の海の深さの変化を答えよ



流水のはたらきと地層 演習プリント 解答①

(1) 答 侵食(しん食)作用

解

説 流れる水が地面の土砂を削るはたらきを侵食といい、水の量が多く流れが速いほど大きくなる

(2) 答 フズリナ、古生代

解

説 フズリナは古生代の示準化石

(3) 答 川の中央部

解

説 川がまっすぐ流れているところでは、川の中央部の流れが速くなっている

(4) 答 しん食・運ぱん

解

説 しん食と運ぱんの作用は、水の量が多く、流れが速いほど大きくなる

(5) 答 泥岩(デイ岩)

解

説 泥が押し固められてできた岩石を泥岩という

(6) 答 砂岩(サ岩)

解

説 砂が押し固められてできた岩石を砂岩という

(7) 答 シーラカンス

解

説 シーラカンスは古生代の化石とほぼ同じすがたの現生種が発見されたため生きた化石と呼ばれる

(8) 答 川の中央部

解

説 川がまっすぐ流れているところでは、川の中央部の深さが深くなっている

(9) 答 整合

解

説 地層のたい積が連続していて、境界面がまっすぐな状態を整合という

(10) 答 深かったのが急に浅くなり、その後また深くなっていった

解 地層は下からたい積しているので、深い(泥)→浅い(れき)→中間(砂)と

説 いう変化になる



↑詳しい解説は作者ブログで

QRコードで移動できます

流水のはたらきと地層 演習プリント②

(1) 泥岩の一種で、有機物を多く含み割れやすく、シェールガスを取り出すことができる岩石を何というか

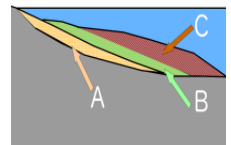
(2) 川が平野部を曲がりくねって流れることを何というか

(3) 図の生物の名前と、生息した地質時代を答えよ



(4) 種類の異なる土砂の重なりが模様となって見えるものを何というか

(5) 図の海の海面が大幅に低下したとき、Cにたい積するものは何から何へ変化するか



(6) プナの化石からわかることは何か

(7) 発掘された地層の地質時代を知る手がかりとなる化石を何というか

(8) 川が曲がって流れているところでは、もっとも深くなるのはどの部分か

(9) 流水のはたらきのうち、水の流れが速いと大きくなるものをすべて答えよ

(10) アサリ、ハマグリ化石からわかることは何か

流水のはたらきと地層 演習プリント 解答②

(1) 答 頁岩(ケツ岩)

解

説 頁岩は泥岩の一種で、有機物を多く含み割れやすく、シェールガスの原料となる

(2) 答 蛇行(だ行)

解

説 川が曲がりくねって流れることを蛇行といい、洪水を起こしやすい場所になる

(3) 答 ビカリア、新生代

解

説 ビカリアは新生代の示準化石

(4) 答 地層

解

説 海底でたい積した土砂の層が地上の露頭に現れたものを地層という

(5) 答 泥かられき(砂)に変化する

解

説 Aはもともと深い海で泥がたい積していたのが、浅くなるとれき(砂)がたい積するようになる

(6) 答 温帯の涼しい気候の森林があった

解

説 ブナは示相化石で、温帯の涼しい気候の場所で繁茂する

(7) 答 示準化石

解

説 すでに絶滅している生物の化石は、地質時代を知る手がかりとなる示準化石という

(8) 答 カーブの外側

解

説 川が曲がって流れているところでは、カーブの外側の深さが深くなっている

(9) 答 しん食・運ぱん

解

説 しん食と運ぱんの作用は、水の量が多く、流れが速いほど大きくなる

(10) 答 浅い海であった

解

説 アサリやハマグリは示相化石で、浅い海であったことを示す



↑ 詳しい解説は作者ブログで

QRコードで移動できます